



テーマ  
「現代」と公共空間

# ATAMI 2030 会 議 CONFERENCE



熱海リノベーションまちづくり実行委員会

「ATAMI2030」それは、もう一度熱海の持つ資源に立ち戻り、現代という時代に合わせて都市と暮らしをアップデートしていく指針。行政も民間も、外の人も内の人も、若者もシニアも、境い目なしに自分たちの暮らしは自分たちでつくっていく。一人ひとりが動き始めた熱海。2030年の未来が見え始めた熱海。そんな熱海の未来を、あなたも一緒につくりませんか。笑って、泣いて、動いて、感動して。はじめの一步は「ATAMI2030」から！



委員会 委員長  
清水 義次氏  
Yohsitsugu Shimizu

日時

2017年 8月 23日(水) 18:00~20:30

場所

naedoco (熱海市銀座町 6-6 サトウ椿ビル 2F)

内容

- 18:00 ~ 18:10 開催趣旨と今回のテーマのご説明
- 18:10 ~ 18:50 ゲストトーク「自分たちの公共空間をつくろう」
- 18:50 ~ 19:10 実践者ミニトーク
- 19:10 ~ 20:30 会場も交えた意見交換

※終了後、懇親会を予定しております。



講演者  
馬場正尊氏  
Masataka Baba

主催 熱海市 協力 株式会社 machimori

熱海市役所 観光経済課 産業振興室 ☎ 0557-86-6204 FAX 0557-86-6199

▶ WEB サイトより  
お申込みください。

<http://renovation-atami.net/>

電話・FAXの場合は、お名前と連絡先(電話)、参加人数、懇親会参加の有無をお知らせください。



# ATAMI 2030 会議

CONFERENCE

熱海リノベーションまちづくり実行委員会

「現代」と  
公共空間



講演者

馬場正尊氏

Masataka Baba

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂で博覧会やショールームの企画などに従事。その後、早稲田大学博士課程に復学。雑誌「A」の編集長を経て、2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。建築の近作として『観月橋団地(2012)』『道頓堀角座』(2013)、『佐賀県柳町歴史地区再生』(2015)など。近著は『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』(学芸出版、2015)、『エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ』(学芸出版、2016)。



委員会座長

清水 義次氏

Yoshitsugu Shimizu

株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役 / 3331 アーツ千代田代表 / 一般社団法人公民連携事業機構代表理事 1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルティング会社にを経て、1992年株式会社アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。主なプロジェクトとして、北九州市小倉家守プロジェクト、若手県紫波町オガールプロジェクトなど、民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースしている。

講演  
内容

## 「自分たちの 公共空間をつくろう」

熱海市の公共空間は本当に「公共」としての機能を果たしているのでしょうか？ 開かれているのでしょうか？ 誰のためにあるのでしょうか？ 本来は人々の生活に大きく影響を与える空間、それが公共空間。人口減少・税収減により維持管理が大きな課題でもある今という時代だからこそ、大きく使い方を変える時ではないでしょうか。利用者の立場からみた公共空間の使いかたを考えます。

TIME TABLE

- 18:00 ~ 18:10 開催趣旨と今回のテーマのご説明  
18:10 ~ 18:50 ゲストトーク  
「自分たちの公共空間をつくろう」  
18:50 ~ 19:10 実践者ミニトーク  
19:10 ~ 20:30 会場も交えた意見交換

※終了後、懇親会を予定しております。

ATAMI2030会議2017版は全5回開催します！

- 第3回 2017年 10月14日(土)  
第4回 2017年 12月 5日(火)  
第5回 2018年 2月17日(土)